



HACO Lab.
ハコラボ

NISSIN 日新

物流容器に新しい可能性を

ハコラボ
HACO Lab.は物流容器のチカラで、循環型社会を実現する静脈物流サービスです。





HACO Lab.
ハコラボ

**物流容器のリユース・リターナブル化によって、コスト削減と環境に優しい物流を。
リターナブル物流容器の導入から運用まで、ハコラボがワンストップでサポートします。**

ハコラボの特徴



ワンストップサービス

RTI(リターナブル物流容器)の開発、導入から空容器の返送物流、容器の個体管理まで、一貫してサポートします。国際物流会社だからこそできるサービスです。



グローバルサポート

日新のグローバルネットワークで、物流面だけではなく、容器やシステムの説明やトレーニングを、経験豊富なスタッフがサポートしますので、安心感が違います。



コスト削減効果を試算

RTI導入のイニシャルコストや、毎月のランニングコスト、容器の初期投資回収期間、現行の物流費との比較から物流コスト削減額に至るまで、お客様に代わって試算します。



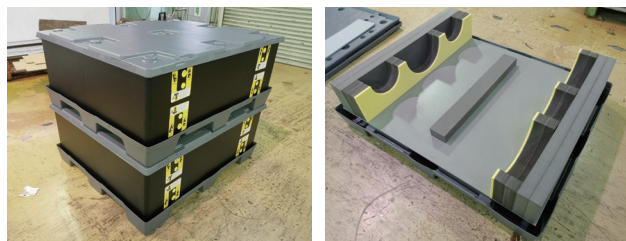
導入後サポート

導入後に起こりがちな、容器の滞留や破損による在庫不足に対して、容器在庫の可視化や返送物流のスケジューリングを通して、最適な運用を継続的にサポートします。

ハコラボの機能

機能① 容器の提案

商品の特性や輸送条件をもとに、リターナブルに適した物流容器を提案します。複合素材を用いたり、オーダーメイドでの容器開発を行うことも可能です。それぞれの素材や用途に合わせた容器資材メーカーの技術力と、国際物流会社としての知見をもって、リターナブル化を最大限に活かせる物流容器を見つけます。



機能② 容器の個体管理

自社開発したクラウド型管理システムで、物流容器の在庫情報を可視化します。容器一つ一つに個体番号を付与し、システム管理を行うことでどこにいくつ在庫しているか、リアルタイムに把握することが可能です。ハコラボでは RFID と画像認識技術を使用が可能で、容器の素材や形状、作業手順によって最適な管理システムをご提案します。



機能③ 静脈物流のサポート

日新のグローバルネットワークを活かして物流面を一貫サポートします。日本側の対応はもちろん、海外現地側でも容器回収、一時保管、パニング作業といった返送に関わる物流をシームレスに行います。また、容器の国際物流に必要な容器免税手続きについては、各国で蓄積された通関ノウハウをもって対応対応します。



CASE STUDY

事例紹介

CASE.01

物流容器のリターナブル化 により物流費軽減



協和工業株式会社様



▲ 強化段ボールからスチール容器に変更



▲ 梱包が簡素化でき作業効率が改善

導入経緯

導入前は大量の小分けカートンを使用し、組み立てやパレタイズにかかる人件費と作業スペースの確保が課題でした。これを耐久性が高く、一梱包あたりの積載数も多くできるスチール製 RTI に切り替え、かつ工場内流通から輸出梱包を共通化することで、工数と資材費の削減ならびに環境への配慮を目指しました。管理には RFID を用いたシステムを導入。滞留や不足を未然に防ぎ在庫の見える化を図りました。

導入効果

人の手による梱包作業時間を削減することで夜勤の廃止や残業時間の短縮、また梱包作業のスペース縮小により、一連の作業をスムーズに行える工場内のレイアウト変更ができました。耐久性の高いスチール製 RTI は 10 年程度使用できるため、およそ 6,000 万円の物流コスト削減が見込まれています。

CASE.02

物流容器管理システムにより パレットの滞留、紛失が改善



住友理工株式会社様



▲ 身近なスマホでスキャンと管理が可能



▲ 再利用することで物流費と環境負荷を低減

導入経緯

日本、タイ間の国際物流において、物流費低減プロジェクトの一環でパレットのリターナブル化を検討していましたが、管理不足によるパレット紛失が問題になり進みませんでした。解決策としてシステムを使った容器管理を提案され、ハコラボ QR アプリを検討した結果、機能・管理工数の容易さ・費用のバランスから採用となりました。

導入効果

パレットの所在や在庫データがリアルタイムで一元管理でき、紛失・滞留の予防に効果がありました。さらには管理作業の負担軽減にもつながっています。システムの操作方法も非常にシンプルなため、日本・タイの現場作業員に混乱も特になく導入することができました。

